

環境文化創成プログラム セミナー

地球環境問題にとって 文化とは何か

環境文化創成プログラムは2022年にIS,FSの公募を実施し、2025年度から3つのFRが揃って活動を開始します。

その時期にあたり、このプログラムが何を目指し、それぞれのプロジェクトがその目的の中で何を担うのか、プロジェクトリーダーと外部専門家との対話を通じて明らかにしていきたいと考えています。

開会の挨拶と趣旨説明

松田 素二

日時 2025年4月2日(水)
10:30-17:15

場所 地球研 講演室 および Zoom

有機物循環プロジェクト

話題提供：大山 修一 プロジェクトリーダー
嘉田 由紀子 環境社会学・生活論
安溪 遊地 人類学・有機農業実践家
安溪 貴子 文化人類学・食文化研究

対話
討論

環境文化創成プログラムの問題意識は、地球環境問題の解決のためには、科学的知識だけでは十分ではないということ、人々の価値観、生き方まで踏み込むためには、科学知とは異質な知や実践との、対等でコンヴィヴィアル（互いを活かして自立共生する）な連携・協同が必要だということです。

ScENE プロジェクト

話題提供：渡邊 剛 プロジェクトリーダー
吉岡 洋 美学芸術学・哲学
中村 寛 文化人類学・デザイン人類学

対話
討論

人々の行動を変容させるには、法や制度に頼ることも必要です。しかしこのプログラムでは現場の生活世界を基点にした「底辺からのアプローチ」を基本にしています。

科学的に正しい知識や政治的に正しい指示を上から、外から与えるだけでは、現場の現実は変わりません。それが地球環境問題にとっての文化の重要性です。

Fashlocks プロジェクト

話題提供：本郷 峻 プロジェクトリーダー
井上 真 環境社会学・森林ガバナンス論
佐藤 哲 地域環境学・トランスディシプリナリー科学

対話
討論

短い話題提供と対話の積み重ねによって、環境文化創生の可能性について考える契機となる場を提供できればと希望しています。

総合討論

皆様のご参加をお待ちしています。

閉会挨拶

松田 素二